

製品名: BRD2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87428**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:88 kDa; Observed MW:110 kDa

抗原情報

遺伝子名	BRD2
別名	FSH; NAT; RNF3; FSRG1; RING3; D6S113E; O27.1.1; BRD2-IT1
遺伝子ID	6046
SwissProt ID	P25440
免疫原	ヒトBRD2の合成ペプチド

背景

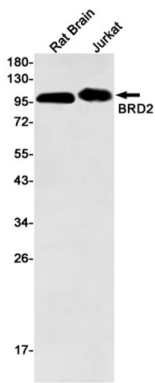
この遺伝子は、BET（プロモドメインおよびエクストラターミナルドメイン）タンパク質ファミリーに属する転写調節因子をコードし

ています。このタンパク質は、有糸分裂中に転写複合体およびアセチル化クロマチンと会合し、2つのブロモドメインを介してヒストン H4 のアセチル化リジン 12 残基に選択的に結合します。この遺伝子は染色体 6p21.3 の主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) クラス II 領域にマッピングされますが、配列比較から、このタンパク質は免疫応答に関与していないことが示唆されています。この遺伝子は、思春期に発症する一般的なてんかんの一種である若年性ミオクロニーてんかんと関連が示唆されています。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングバリエントが報告されています。[RefSeq 提供、2010年12月]

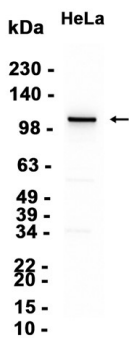
研究分野

-

画像データ



BRD2 抗体 (1:500 希釈) を使用したラット脳 Jurkat 細胞溶解物中の BRD2 のウエスタンブロット検出。



AMRe87428 を 1:2000 で使用して HeLa 細胞抽出物をウエスタンブロット分析しました。